



曹洞宗両大本山南米別院仏心寺創立 南アメリカ国際布教総監部開設  
六十周年記念慶讃法会 2019/11/22-24

令和 2 年 № 71  
初春 **ねんが** 号

# あきばさん

発行人 / 発行所  
秋葉山 新井 寺  
272-0144  
千葉県市川市新井  
1 丁目 9 の 1  
電話 047-357-8319  
FAX 047-357-8399  
mail: info@shinseiji.jp  
http://www.shinseiji.jp  
郵便振替 00150-2-282968

## 年頭のごあいさつ

### 当山住持

**謹賀新年。** 年頭にあたり、当寺檀信徒各家 当寺秋葉講中、月例坐禅会・写経会・梅花講の皆様、および有縁無縁の信心の願主 皆様の**福寿多幸**を心よりご祈念申し上げます。

昨年は、世界的な危機的 異常気象の影響もあつてか、世界的に不順な気候となり、日本各地では、台風をはじめ大小の自然災害が発生し、当千葉県においても多くの皆様が大変な被害に見舞われました。

心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧をご祈念申し上げる次第です。当山におきましては、例年通り、春・秋ひがん法要、七月のおせがき、十一月の秋葉三尺坊様の火防大祭の恒規法要を皆様と共におつとめしました。

また、月例行事としましては、坐禅会・写経会・梅花講などを修行いたしました。とくに、十一月には約一週間の日程で、ブラジルサンパウロの両大本山南米別院仏心寺様での創立六十周年の大法要に、住職が高階禅師様の法類の皆様と報恩修行に行つて参りました。

仏心寺様は、「世界の禅師様」として歴史的に仰がれ、親しまれた、私共の祖父師であり、当山ともご縁の深い高階瓏仙禅師様が開教し、曹洞宗の大本山永平寺と大本山總持寺の「南米別院」として開創されたお寺です。このたびの六十周年の法要には、世界各地より御寺院・関係各位の皆様方が参集され、盛大に厳修されました。大変有難く尊い仏作仏行でございました。

ブラジルへは飛行機で片道二十四時間以上の難行程でしたが、高階禅師様との有難い法縁のおかげで、何よりの報恩行をつとめることができました。願わくは、この功德を以て普く一切に及ぼし、我等と衆生と皆共に仏道を成ぜんことを。

本年も、どうぞ、よろしく御願い申し上げます。

合掌

# 今年もよろしく

## お願いします



### 種子を蒔く

戌山本崇文

新年を迎え、皆様の御多幸を心より御祈願申し上げます。

平成最期の昨年、イチロー選手が引退しました。選手時代に大リーグ史上初の九年連続シーズン二〇〇本安打という記録を一〇八年ぶりに更新し、翌年には新記録を樹立しました。

当時、コマーシャルで「イチローはなぜ、同じ毎日をくり返しているのに未来をつくれるのか。」という問いにイチロー選手が「確かな一歩の積み重ねでしか、遠くへは行けない。」また「小さい一歩の積み重ねが、とんでもないところへ行けるただひとつの道だと思う。」と述べています。

イチロー選手は、日々の小さい一歩を積み重ね、どんな苦悩にも耐え、自分の潜在能力を発揮して最高の今を作り出し、そこからさらに進歩発展を忘れずに積み重ねを続けた。だからこそ、大記録を達成できたのでしよう。

一日の行持是れ諸仏の種子なり、

諸仏の行持なり

『修証義』第五章「行持報恩」

日々良き種子を蒔き、その苗が生長し成功という大輪の花が咲くよう、自らの積み重ねをしていきましょう。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

(野田市 淨禅寺住職・戌どし)

合掌

### 初三昧

富松井純照



令和となり、初めての初春を迎えました。そして今年には干支の初め、子年です。と、例年になく「初・初・初」が並んでいます。

先日、富山県の方と出会う機会がありました。富山県は私が和尚となる修行をさせていただいた地です。修行時代のことを思い出しました。

あの頃は、初めて袖を通すお衣に、初めて聞く仏教の言葉に、初めての修行道場の生活に……。初めてすぎて、嫌も応もなくすべてに必死でした。真剣に

行じているにもかかわらず思うように出来ず、悔しい思いをしたり、恥ずかしい思いをしたりしたこと多々ありました。しかし、今、思い起こしてみると大変充実したありがたい時間でした。

けれども今はどうでしょうか。もちろん、何度も経験させていただいたことを行じているわけですから、不安や心配は少なくなってきました。と同時に達成感も薄れてきたように思いますが、手を抜いているつもりはありませんが、日常化した毎日に流されています。

令和二年子年初春、今一度初心を思い出し、毎日の活力を見いだす三昧な精進に励んでまいります。

今年もよろしく願います。

(松戸市 瓏仙院守塔・寅どし) 合掌



## 出合いに感謝をしながら



松井百合子

あけましておめでとうございます。

元号が新しくなり、はじめてのお正月を迎えました。昭和・平成、そして新元号 令和、これまで健康でつつがなく過ごさせていただくことができたのも様々な方々との出合いやご縁のおかげです。とくに、一般家庭に生まれ育った私がお寺に嫁ぎ、お寺のことはまったくわからない中、お檀家の皆様が一緒に行かないながら、色々なことを手とり足とり親切に教えていただきました。その時その時の出来事やひと言を思い出すと、感謝の気持ちがあふれます。

去年は、「これからは、少しは自分の時間を作ってみたら？」という知人からのお誘いで、「七十の手習い」で「精進料理教室」に通いはじめました。月に一度、友人に会えるしあわせを感じながら楽しみに出かけております。

つくるものは「和食」です。どこにもある材料で、食材はムダにしない。原則は、全部使い切ること。

たとえば、ゆず。皮は冷凍するか、ジ

ヤムや砂糖漬けのお菓子に、汁はしばってビニール袋に入れ板状にして冷凍し別のお料理に、汁をしぼった中身は温浴剤として風呂に、種はアルコール漬けにして化粧水に。

「飽食の時代」といわれる現代において、ムダをしない調理法、いのちをたいていせつにする精進料理のこころを学びます。先生やお仲間の動き・ことばがとても心地よい刺激となり、街の空気もいただきながら、元気をいただいております。また、その日のお教室の最後には、先生が御抹茶を一服点てくださるので、その一服がまた至福のひととき。からだもこころもシャキッとさせてくれます。

いろいろな出合いに感謝をしながら、今年もそれなりにつとめてまいりたいと思います。

本年もよろしく願います。

(当山 寺族・丑どし) 合掌



おはなのおはなし

松井礼子

二〇一八年は記録的な猛暑、二〇一九年は体験したことのない大きな台風。温暖化の影響により、地球が悲鳴をあげているようです。

千葉県では、カーネーション・ストック・あじさい・キンセンカ・シクラメン・千両などたくさんのお花が生産されています。その千葉県では、台風十九号の影響により、ハウスが倒壊したり、断水により水やりができなかったりと、大切に育てられていたたくさんの花々は、無残な結果となりました。自然災害のたびに、価格が高騰するため、思うようなお花を皆様にお届けすることができず、心苦しく思います。



大親友のお花のために、地球温暖化を防止できる行動を今年からはじめてみたいと思っています。

わたしの花屋人生は今年で十一年目を迎え、今年から第二幕が始まるように思います。第一幕では、素敵な仏花を作りたい！の一心でみなさまのご協力のもとに練習や研究・工夫を重ね、菊と季節の花々で仏花を奏でることができるようになったと思っています。第二幕では、更なる技術やセンスの向上を目指し、仏花のイメージUPに努めます。本年も、どうぞよろしく願います。

(花屋秋葉山店主・卯どし)

「しあわせ」に

気づくしあわせ



松井量孝

私たちは自分の思うようにいかない、不幸のどん底に落ちたように思いがちです。しかし冷静に考えると、今朝のお茶はおいしいなとか、散歩することができて幸せだ……など、日常にはたくさんさんの幸せがあふれていることに気づくはずですよ。

横田南嶺

この言葉に出会ったとき、人生の負の場面ばかりをクローズアップしてしまい、落胆したり、反省したり、不満や「しあわせ感」を募らせている自分に気がつきました。そして、なんでも「あたりまえ」と受けとめているがために、しあわせに気づくことができないのだろうと思いました。

さまざまなお縁とできるだけではないに、向きあい、身近な日常のなんでもとができる自分でありたいと願っています。

本年もよろしく願います。みなさまのご清安を心よりお祈り申し上げます。

(当山 副住職・編集小子・未どし)

合掌

曹洞宗

テレホン法話

週替わりで

和尚さんの法話を  
聞くことができます

0120

508-740

1/14 ~ 20 は

「なりきる」  
ということ

当山副住職の法話です

